

岐阜商工会議所

令和元年度経営発達支援計画評価委員会

議事録

- 日 時 令和2年3月10日（火） 13時00分～15時00分
場 所 岐阜商工会議所 4階 常議員会室
議 題 (1) 委員長選任について
(2) 経営発達支援計画について
(3) 経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について
(4) 経営発達支援計画策定の総評について
(5) その他

参加者 ○委員10名

岐阜商工会議所	副会頭	廣田 孝昭 氏
同	専務理事	森 健二 氏
同	常務理事	河尻 満 氏
岐阜県商工労働部	商工政策課長	桑田 善晴 氏
	(代理出席 団体支援係長	桑山 保 氏)
岐阜市商工観光部	産業雇用課長	村田 政信 氏
	(代理出席 経営支援係長	安田 征弘 氏)
大野経営労務事務所	代表	大野 実雄 氏
名古屋税理士会 岐阜北支部長		長谷川浩康 氏
	(管内小規模事業者)	
榎向伸	代表取締役	船渡美由紀 氏
河村尚江デザイン事務所	代表	河村 尚江 氏
おおきな木	代表	杉山三四郎 氏

○事務局14名

岐阜商工会議所	理事兼中小企業相談所長	市村 敦史
同	中小企業相談所支援部支援課課長	船田 淳
同	〃 支援部相談課課長代理	小島 清隆
同	〃 振興部産業振興課課長	鬼頭 貴士
同	〃 振興部企画振興課課長	福地 優子

経営支援員（12名）※一部上記の者を含む

船田 淳、鬼頭貴士、小島清隆、平井佑弥、森島 悠、浅野冴香
山田成大、村上慶伍、三浦隆史、林 義晃、松田英俊、小関 哲

内 容

議題（１）委員長選任について

廣田委員を委員長に選任。

議題（２）経営発達支援計画について

市村理事より、資料１に基づき経営発達支援計画の概要について、および資料２に基づき評価の進め方について説明。

議題（３）経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について

事務局より、資料３に基づき実績報告の概要について事業成果事例を交え説明を行い、各事業毎に委員が協議し、達成度に対する ABCD 評価および評価結果に基づく提示、今後の展開・改善点等について意見が出された（詳細は下記評価表のとおり）。

<評価表>

区分	実施内容	事業の目標	評 価	提 示	今後の展開 改善点等
I. 経営発達支援事業の内容					
1. 地域の経済動 向調査に関する こと【指針③】	景況調査の実施／他 機関の調査報告資料 の収集、情報収集／経 営支援員情報交換会 議による総合分析	・地域経済動向の正確な分 析の実現。 ・管内小規模事業者が地域 の景況感を感じることで、ま た地域動向に合わせた経営 の重要性の認識向上に対す る啓発。	A	ア	景況調査結果をHP に公開しているが、 閲覧数を検証してフ ィードバック数に反 映させてはどうか。
2. 経営状況の分 析に関すること 【指針①】	巡回による経営情報 の収集・DB整備／経 営セミナー開催によ る経営情報の収集・ DB整備／財務分析・ 経営分析の実施	・小規模事業者の経営実態 把握と分析により、経営課 題抽出とその解決に向けた 事業計画策定へつなぐ。 ・経営支援員と事業者の信 頼関係構築。 ・セミナー開催による事業 者の支援ニーズや経営課題 の掘り起しと、経営情報収 集。	B	ア	受講者数の少ないセ ミナーについては内 容を見直す必要があ るとともに、受講者 のセミナーに対する 満足度も重要であ る。アンケートの集 計結果をもとに今後 事業展開してほしい。

<p>3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】</p>	<p>事業計画策定セミナーの開催／事業計画策定支援（個社支援）の実施／創業支援の実施（創業塾・創業相談）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定支援。策定時には1. の調査結果を踏まえ売上向上、収益向上実現を目指す。 ・地域産業の新陳代謝や活力強化のための新規創業支援。 	<p>A</p>	<p>ア</p>	<p>創業者数のカウントについて、目標設定「半年以内」とあるが、創業まで時間を要するのが実情である。支援効果をより把握するために過年度のセミナー参加者等も考慮してはどうか。</p>
<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】</p>	<p>事業計画策定支援をおこなった事業者へ巡回等で個別フォローを実施。事業計画策定支援をおこなった事業者を対象としたフォローアップセミナーを実施。創業計画策定支援をおこなった事業者へのアフターフォローの実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の円滑な遂行のための密なフォローアップ。 	<p>A</p>	<p>ア</p>	<p>特になし</p>
<p>5. 需要動向調査に関すること【指針③】</p>	<p>日経テレコンのデータ活用／民と官の統計資料の活用／需要動向の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化する消費動向や需要動向の把握と事業者への情報提供。 	<p>B</p>	<p>ア</p>	<p>特になし</p>
<p>6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】</p>	<p>商店魅力発掘事業（まちゼミ・おしえ店長サン）の実施／商談会・展示会・各種セミナーへの参加促進による販路開拓支援の実施／合同記者発表会等マスコミ・ケーブルテレビへの働きかけによる情報発信／ICT活用による情報発信</p>	<p>販路開拓力が脆弱な小規模事業者に対し、ITを始めとする情報発信のサポートや、商談会・展示会といった販路開拓の場を創出、支援し売上増につなげる。</p>	<p>C</p>	<p>ア</p>	<p>展示会については必ずしも商談につながるケースもあるが、異業種交流等を通じてビジネスパートナーとなり得る効果も期待できる。商談件数等で判断すると厳しい数字ではあるが、引き続き販路開拓支援に注力してほしい。</p>

II. 地域経済の活性化に資する取組					
	G シャツプロジェクト事業 (岐阜アパレルのブランド振興)	市の基幹産業”繊維産業”の振興に向けた新商品開発支援	A	ア	特になし
	中心市街地活性化事業	市の中心市街地”柳ヶ瀬”の魅力向上による地域のにぎわいの創出。	A	ア	特になし
III. 経営発達支援計画の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組					
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	県内支援機関情報交換会の実施/近隣支援機関開催の商談会・展示会等の相互参加や共催/他の支援機関への職員派遣	行政ほか各支援機関それぞれの事業情報を随時掴んで活用し、事業者支援へのより高い効果を得る。 特に先進的な取り組みを行う機関へは、一定期間職員を派遣しそのノウハウを吸収し小規模事業者支援力の向上を図る。	B	ア	特になし
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	業務支援員研修・経営支援員研修開催/経営支援員の各種研修・セミナーへの積極的参加/所内情報交換会の実施/支援業務でのOJTの実施	経営支援員の支援スキルを上げるとともに平準化し、一定レベル以上の小規模事業者支援体制を確立する。	A	ア	引き続き研修等へ積極的に参加し、支援員の資質向上に努めてほしい。

【評価基準】

- A：目標を達成することができた（100%）
- B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

【評価結果に基づく提示】

- ア：事業継続
- イ：事業改善
- ウ：代替事業への必要性
- エ：事業廃止

議題（４）経営発達支援計画の総評について

まず個社支援事例13件を提示し、うち4事例について経営支援員4名（森島・山田・三浦・浅野）により発表を行った。事例発表後、委員から発表した支援員に対し、今回の支援事例をもとに今後の個社支援にどのように活かしていくか質問された。

支援員からは、日頃の支援で培ったノウハウを様々な業種、業態の事業者に対応できるようにしていきたい。また、所内の情報交換会議等を通じて、支援員各々の成功事例を持ち寄り、情報を共有することによって支援ノウハウをお互いに補完していきたいと回答。さらに、情報発信の重要性を事業者に認識してもらうことが、支援にあたって必要であるとの意見を述べた。

総評として、今年度の実績は多くの項目で目標達成と認められるが、上記で指摘した今後の改善点を踏まえ事業を遂行すること。また、個社支援事例にあったように事業者の様々な経営課題に対して事業計画策定からフォローアップまできめ細やかに支援されており評価できる。今後も伴走型支援の指針のもと、支援の充実を図るよう要望された。

議題（５）その他

なし

以 上